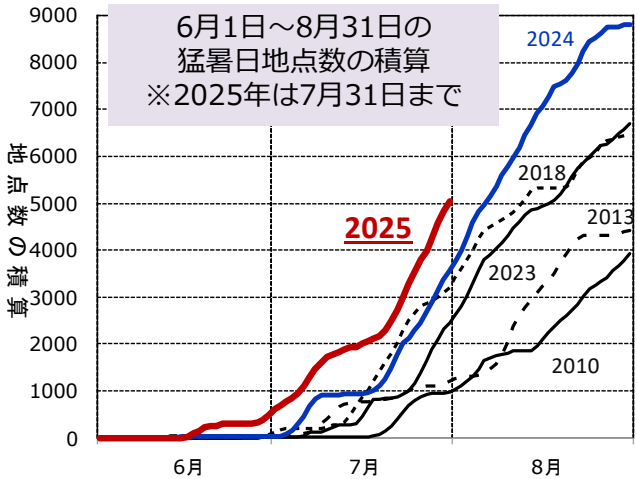
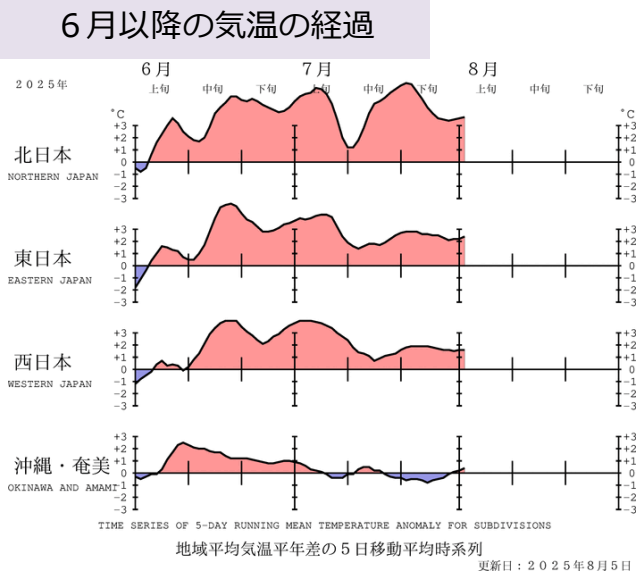


- 6月、7月の月平均気温は、北日本、東日本、西日本で、統計のある1946年以降各月として最高となった。
- 6月以降の猛暑日地点数の積算は7月末時点で5,055地点となり、比較可能な2010年以降で最も多くなっている。
- 群馬県伊勢崎市では、8月5日に日最高気温41.8度を観測し、国内における観測史上1位の日最高気温を更新した。
- 今後、8月前半は極端な高温は一旦収まるが、後半は再び猛暑日となる所が多くなる見通し。



1か月予報

7月31日発表（次回 8月7日14時30分）

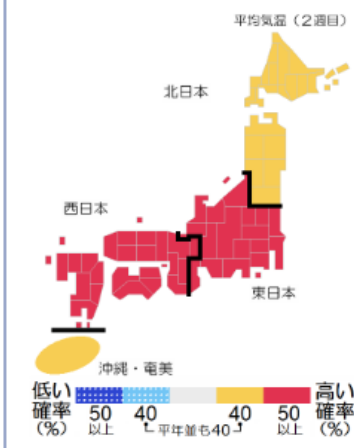
8月9～15日

8月16～29日

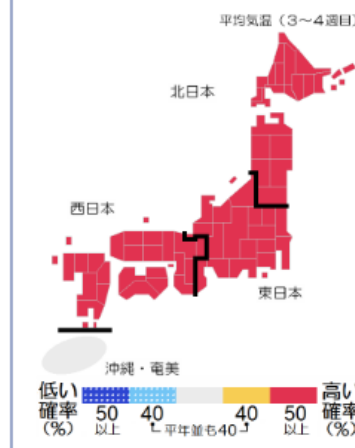
	平均気温（2週目） 8/9～8/15	平均気温（3～4週目） 8/16～8/29
北日本	低20 並40 高40% 平年並か高い見込み	低10 並30 高60% 高い見込み
東日本	低20 並30 高50% 高い見込み	低10 並30 高60% 高い見込み
西日本	低20 並30 高50% 高い見込み	低20 並30 高50% 高い見込み
沖縄・奄美	低20 並40 高40% 平年並か高い見込み	低30 並40 高30% ほぼ平年並の見込み

数値は予想される出現確率（％）です

平均気温（2週目）



平均気温（3～4週目）

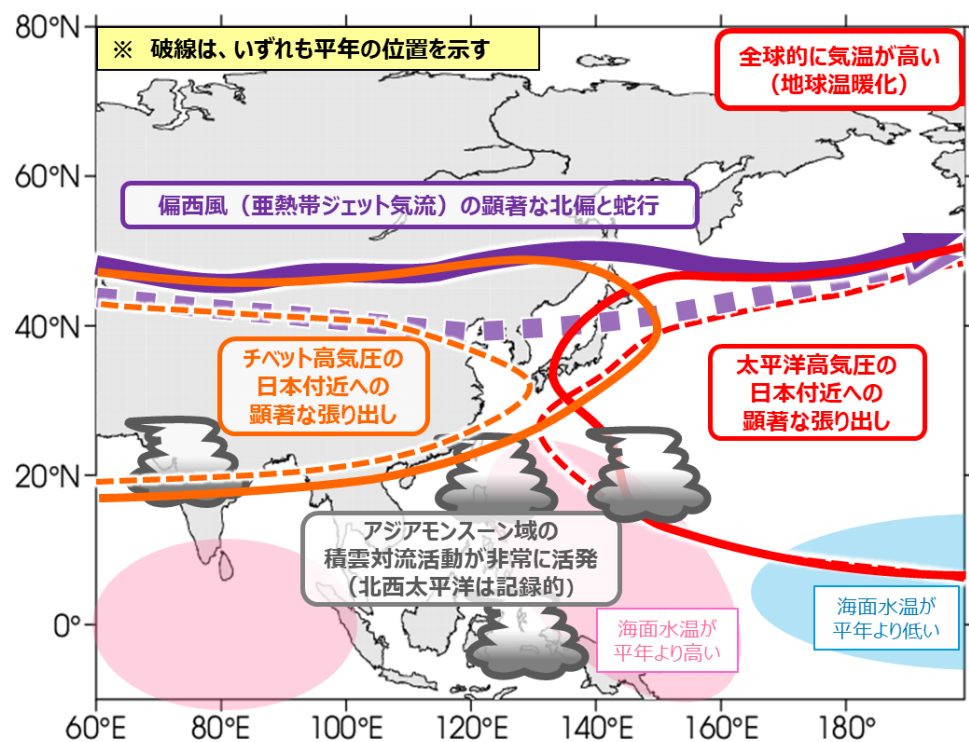


低い確率（％） 50 40 40 50 高い確率（％）

以上 平年並も40以上

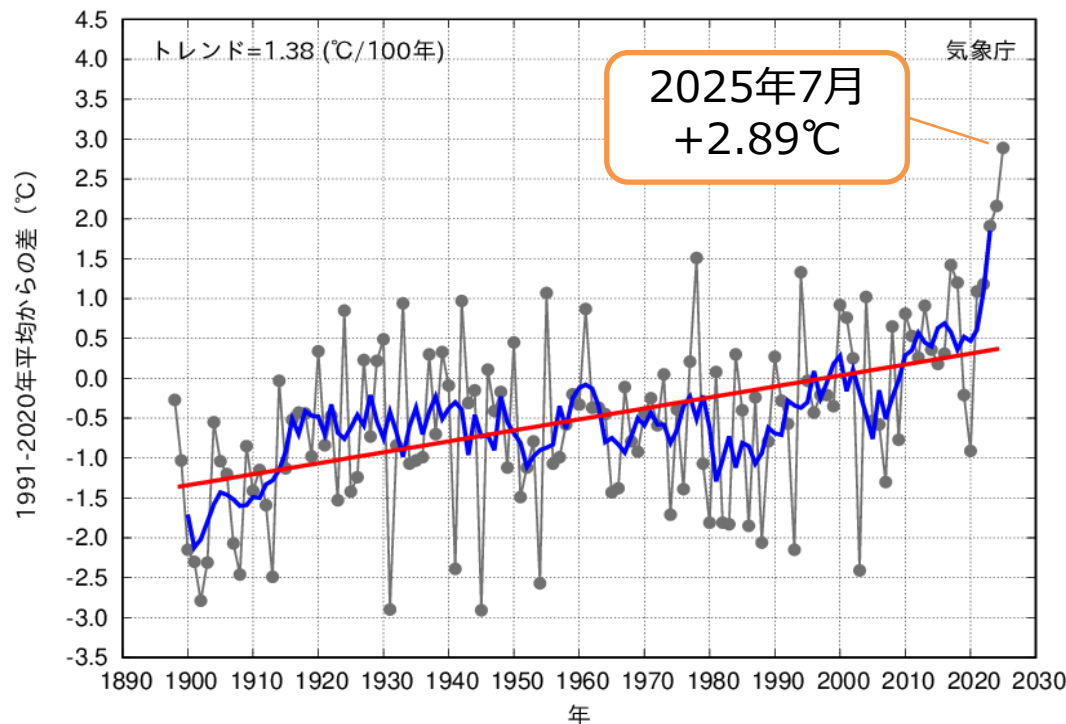
1

顕著な高温をもたらした 7月の大気の流れの特徴



日本付近は梅雨前線の影響を受けず雨が少なかった。
東・西日本は高気圧に覆われやすく、北日本には暖
気が流れ込みやすく、記録的な高温となった。

日本の7月平均気温偏差の長期変化



細線 (黒) : 各年の基準値からの偏差
太線 (青) : 偏差の5年移動平均値
直線 (赤) : 長期変化傾向
(この期間の平均的な変化傾向
であり、100年あたり1.38°C
の割合で上昇している。)
基準値 : 1991~2020年の30年平均値